

S3バケットへのHTTPSトランザクションのログクエリ文字列パラメータの設定

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

はじめに

このドキュメントでは、s3バケットに記録されるHTTPSトランザクションの新しいログクエリパラメータについて説明します。

概要

クエリ文字列パラメータを含む完全なHTTPS要求をs3バケットに記録するための新しいロギング機能が使用可能になりました。

デフォルトでは、UmbrellaはすべてのHTTPS要求からクエリ文字列パラメータを削除してから、詳細をUmbrellaのレポーティングとS3バケットにロギングします。これは、レポートにプライベートな情報や機密情報が含まれている可能性があるため、誤ってクエリパラメータがレポートに公開されるのを防ぐためです。

S3バケットは、SIEMおよびスペシャリストのレポートツールにアクティビティデータを提供するためによく使用されます。HTTPSトランザクションに対してログクエリパラメータを有効にすることで、これらのツールはHTTPS要求に対する可視性と洞察を高めることができます。

1. HTTPSトラフィック (暗号化)、クエリ文字列パラメータは、引き続きUmbrellaレポートダッシュボードから削除されます。
2. HTTPトラフィック (暗号化されていない) の場合、Umbrellaは常にクエリ文字列パラメータを含むフルURLを記録しています。HTTPトラフィックのパラメータは、アプリケーション/Webサイトで暗号化されないため、「機密」とはみなされません。

この新しいs3バケットロギング機能を有効にする方法の詳細については、Umbrellaのドキュメントを参照してください。

- 独自のS3バケットへのロギングの有効化 : <https://docs.umbrella.com/umbrella-user-guide/docs/enable-logging-to-your-own-s3-bucket>
- シスコが管理するS3バケットへのロギングの有効化 : <https://docs.umbrella.com/umbrella-user-guide/docs/enable-logging-to-a-cisco-managed-s3-bucket>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。